

(別紙2)

2. 目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホームアムール平野

作成日 2026年4月16日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	18	記録が紙媒体中心であり、情報共有の効率化に課題がある	記録の電子化に向けた準備を進める。	電子記録システムの比較検討を行う。ICT研修を実施する。一部記録を試験的にデジタル化し、課題を抽出する。	年度内
2	12	研修は実施しているが体系化が不十分で、外部研修参加が少ない。	職員研修体系の整備と外部研修参加の促進。	外部研修の参加枠を拡大する。伝達研修を定例化する。新人向けOJTマニュアルを見直す。	年度内
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。

サービス 種別名	認知症対応型共同生活介護
-------------	--------------

法人名	株式会社ライフパートナー		
事業所名	グループホームアムール平野		
自主点検 及び 運営推進会議点検日 ＜前回行政提出年月日＞	(令和7年度 自主点検日 2026年3月20日) (運営推進会議点検日 2026年4月16日) (行政提出年月日 2026年8月17日) ＜(前回) 年 月 日＞		
構成員	所 属	氏 名	備考欄
	自治会長	神並 健次郎	
	家族代表	桑原 賢至(司法書士・成年後見人)	
	地域包括支援センター	担当者	
	グループホーム アムール平野 管理者	井 上 建 志	
	介護事業部・部長	米 谷 正 次	

※認知症対応型居宅介護については、運営推進会議において、外部評価を行う必要があるため、年1回は、この様式により自己評価を行った上で、運営推進会議において外部評価を実施し、記録を残すこと。

なお、実施時期は、年1回事業所の任意の時期とするが、事業所は、書面会議ではなく、実際の運営推進会議の場で自己評価結果とその理由等について説明し、外部評価として評価や意見を受けること。

また、各市区町村担当課には、「自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール」及び「目標達成計画」を提出することとします。

※ 構成員には、市区町村担当者または地域包括支援センター職員の配置が必須とします。

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
Ⅰ.理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入職オリエンテーション時に管理者より理念の説明をしている。またホーム内に理念を掲示。全職員は名札に理念を携帯している。利用者家族には「アムールたより」に記載している			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自治会の準会員に属し回覧板を回している。運営推進会議に地域の役員・地域包括支援センターなどの方が参加され地域の催しや情報等を共有している。	回覧板や地域での相談対応、地域のサロンなどにて認知症の勉強会などの手伝いをお願いしたい。地域の情報を共有します。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所の空き情報や身体拘束や虐待を行わない取り組みや事故や苦情などの報告を行っている。	運営推進会議にて、随時報告する事としています。以前のように感染対策として運営推進会議を開催しない時は、書面にて報告する事とします。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	空床情報、入居相談、困難事例、事故報告など相談を行い助言など貰うようにします。	市担当者や包括支援センター、地域の関係機関との密接な連携を今後もねがいたい。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束マニュアルを常時確認出来る様にしている。・玄関ドア施錠、行動の制限を含めて身体拘束にあたることをミーティングで話し合い拘束しないケアを心掛けている。GH 協会が発行している、虐待防止の啓発ポスターを掲示している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	玄関ドア施錠、行動の制限を含めて身体拘束にあたることをミーティングで話し合い拘束しないケアを心掛けている。出入口は夜間のみ施錠し、日中は外出希望などがあれば職員が同行できるように工夫している。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新規スタッフには、入職前オリエンテーション時に研修を実施している。本社研修に参加し参加者が他スタッフに研修報告を行い防止に努めている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎年、本社で研修を受けた職員が事業所で伝達研修を行っている。研修での課題や意見をまとめ、職員間で話し合い虐待しないケアの実践に努めている。年に2回実施している。

7	権利擁護に関する 制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	後見人との連携を図り権利擁護に取り組んでいる。			
8	契約に関する説明 と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	新規契約時に、管理者より説明を行っている。随時の法改正等の際にも説明を行い、同意を得ている。			
9	運営に関する利用者、 家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	毎月の請求書郵送時に運営推進会議開催のお知らせ文章を同封している。ご家族に家族代表として運営推進会議への参加を促している。面会簿に一言欄を設けている。またケアプラン更新時などの機会を捉え、利用者、ご家族の意向を確認している。		☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	利用者や家族が意見しやすいような雰囲気を作っている。家族などには面会時や電話で意見や要望を聴き取り、会議などで話し合い、運営に反映している。
10	運営に関する職員 意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・毎月、全体会議(全スタッフ)を行っている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	キャリアパス要件に従い、本社研修として各事業所より選抜者を募り、参加をしている。参加者は年間を通じて様々な研修を行うと共に、研修参加費用の個人負担はない。		☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	管理者などが普段から職員に声をかけ、悩みや意見などを聴き取っている。年に2～3回程度、または必要時には面談を実施し、思いを聴き取っている。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	積極的に社内研修に参加を促進している。また、法人内で研修スタッフを募り月1回研修会を開催し、伝達研修として法人内研修に参加したスタッフが講師となり全体ミーティングで研修会を行っている。		☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	内部研修のみではなく外部への研修にも積極的に参加し情報共有や伝達研修を行っていきたい。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	スタッフにて認知症リーダー研修のステップアップ知症介護の専門職研修や他研修会を随時開催、参加や講師役を担っている。			

14	本人と共に過ごし 支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場に おらず、暮らしを共にする者同士の関係 を築いている	☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	ご本人のニーズを傾聴し支援に努め ている。利用者との関係づくりの構 築ができるよう支援を行っている。 調理や食器洗い等の手伝いを共に 行うことにて役割を持ってもらい過 している。			
15	馴染みの人や場と の関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの 人や場所との関係が途切れないよう、支 援に努めている	☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	面会制限を感染症が蔓延している場 合はおこなうところがあるが、外出の 機会も増加している	コロナ禍において、馴染みの場所など に出かけることが厳しい時期もあつた が、可能な範囲で、出かけれる機会を作 っていく。また、面会制限も緩和され家族 や友人などに呼びかけ、ホームに訪れて いる機会が増している。		
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、 一日の過ごし方の希望や意向の把握に努 めている。	☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	一人ずつ担当者を設け、各々の生活 歴や趣味活動などの把握に努めて いる。誕生日には各利用者に応じて 要望を可能な限り聞いている。ホー ム内で食べたい物などを手作りで提 供している。			
17	チームでつくる介 護計画とモニタリ ング	本人がより良く暮らすための課題とケアの あり方について、本人、家族、必要な関係 者と話し合い、それぞれの意見やアイディ アを反映し、現状に即した介護計画を作成 している	☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	カンファレンスを管理者、計画作成担 当者、担当者その他関係者で開催し ている。ご本人が何を求めている か、何を望んでいるかなど担当者が 日々のコミュニケーションを通して把 握し必要に応じて代弁している。申し 送りノートなどでの意見交換を行い、 ケアの統一が図れるよう工夫し計画 を作成している。毎月1回請求書と 共に「各利用者月間報告書」を担当 者が作成し家族などに郵送している	引き続き、利用者が求めている事、望 んでいる事、また家族の思いなども親身 に聴き取り、職員間で情報共有や意見 交換を行い、ケアプランに反映する事と する。	☒ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	ケアプランは6ヶ月毎にモニタリング行 い見直している。心身の状況などに変 化があれば、その都度見直している。事 前に主治医や利用者及び家族、職員か ら意見を聴取している。その後、カンファ レンスを開催し、ケアプランに反映して いる。
18	個別の記録と実践 への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや 工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を 共有しながら実践や介護計画の見直しに 活かしている	☒ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	管理日誌に残し、特記事項をカルテ 2号用紙に、又些細な情報は申し送 りノートに記載し情報の共有に努め ている。今後は電子媒体での記録も 検討している。		☒ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	些細な事でも、カルテ2号用紙に記載 している。また、利用者が話したことや 職員が行ったケアなども記載している。 申し送りノートを活用し、職員が情報共 有している。デジタル化が進んでいない ことが課題である。

19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族、ご本人と相談しその時々に応じた可能な限りの関わりを一緒に検討している。	意思疎通が厳しい利用者への相談などは家族に相談内容を伝え一緒に検討していく事とする。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自治会等の協力を得て地域の情報をえている。	今後も各種関係者と連携をはかり積極的に活動へ参加する事とする。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	かかりつけ医はご本人ご家族の希望に沿っている。協力医療機関へは定期的な受診や健康診断を行っている。必要に応じてかかりつけ医に訪問診療を依頼している。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	医療機関のMSWや医師と密に連携を図り、本人の状態を伝え、環境の変化が最小限で抑えられるように努めている。また、可能な限り早期退院できるように連絡を密にとるよう努めている。入院時必要な情報を提供している。退院後の方向性について必要に応じ医師、機能訓練員等との面談を実施している。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	9割の利用者が提携のクリニックで対応している。通院時には利用者の状態などを伝えている入院時は、早期退院できるよう、入院先のMSWと連絡を密に取っている。退院時は必要に応じ、医師、看護師、機能訓練員などと退院前カンファレンスを実施している。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所のみでの対応には限界がある為、他社会資源（往診医・訪問看護ステーションなど）と連携を図っている。終末をどこでどのように過ごしたいか、タイミングを図りながら随時ご家族等に聞いている。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時に看取りに関する指針を説明し、本人と家族の意向を確認している。職員は、日頃の会話の中でも利用者の意向を汲み取るように努めている。重度化した際は、看取り支援確認書に署名をもらい、家族や後見人と医療関係者を含めて支援の方針を決めている。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	緊急時対応マニュアルを作成し、周知している。			

25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	緊急時フローチャートを作成している。また、避難訓練の際には自治会の方の協力を得ている。	災害時に備えて、食料 3～5 日分、カセットコンロやランタンなどを各ユニットに備蓄している。また毎年 9 月に行われている高石市津波避難訓練にも自治会の方と共に参加する。緊急時フローチャートにも継続して自治会関係者が役割を担って頂く事とする。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日中と夜間を想定した防災訓練をそれぞれ年 1 回ずつ行っている。地域住民とは緊急時の協力体制が構築できている。また緊急時のフローチャートは全職員に手順を周知した上で事務所に掲示しており、いつでも確認することができる。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排便等ご本人の羞恥心を損なう可能性のある事柄に関して確認を行う際は、居室などご本人が一人になった時など周りに気づかれないうさりげなく行うよう心がけている。また、呼び名を愛称で行う場合は、事前にご本人、ご家族に了解を頂いている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個人情報保護に関する研修とプライバシーに関する研修をそれぞれ年 1 回行っている。特に利用者の呼び方やスピーチロックに関する内容は、日々の支援の中でも配慮を徹底するように心がけている。個人情報を含む書類関係は鍵付きのキャビネットに保管されている。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事時間、入浴時間等可能な限り要望に沿ったサービス提供を図っている。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人の栄養士がメニューを作成し栄養管理を行っているが、利用者の要望によりメニューを変更することがある。食事やおやつは可能な限り共に調理できるようにし、下膳配膳は可能な方行ってもらっている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理栄養士が作った献立を基に調理している。利用者は、配膳や下膳、テーブル拭きなどを職員と一緒にしている。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	栄養管理は栄養士がメニューを作成し 1 日約 1500～1600Kcal の摂取量としている。1 日の水分量をチェックしている。月 1 回、体重測定を行っている。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	義歯は義歯洗浄剤にて洗浄している。毎食前後うがい又は必要な方には歯科受診や提携歯科にて口腔ケアを実施している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食前後うがいを行っており、感染予防に努めている。また、必要な方には 1 週間に 1 度歯科往診にて義歯の調整や歯科衛生士による口腔クリーニングを行っている。

31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	いつもと異なる動きなどの変化に気づいた場合はさりげなくトイレ誘導するなどしている。おむつはその人に応じたもの(1回尿量の多さなど)を使用するようにしている。また、1日の尿量を観察し必要に応じて定期的にさりげなく誘導している方もいる。		☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	利用者の状態や動きを変化で、トイレへの誘導を行っている。また、トイレ内の見守りは羞恥心に配慮している。日中は出来る限りトイレで排泄できるように支援している。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	各々の利用者に応じて、時間の融通を行っている。要望に沿って入浴剤の使用している。また、可能な限り同性介助を原則としている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	覚醒時間や睡眠時間のチェックを行っている。寝具・ベッドは提供しているが、随時のシーツ交換、定期的なシーツ交換(週一回)を行い、希望のある方にはなじみの寝具や衣類を使用していただけよう持ってきてもらい管理を行っている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	薬の説明、用量、副作用は全職員に周知している。又薬説明書をカルテにファイルしている。		☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	薬の説明書は職員がすぐに見れるようカルテにファイルしており、薬の内容など周知している。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	家事を中心に出来る事への支援を行っている。各方の楽しみに沿ったホーム内のできる事(計算、塗り絵、手芸など)一人ひとりに合わせた楽しみを提供している。	利用者個々に応じた楽しみ方(塗り絵、計算、ちぎり絵等)を提供しており、ホーム内には仕上げた作品が飾られている。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	ご本人の希望に沿った外出を支援している。(普段は近隣の喫茶店や店舗への買い物、近所の散歩、季節に応じては花見などへの外出を行っている。)感染症時期前より、その機会が減少している。	食材や日用品などの購入にでかけていたが、以前よりも減少している		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	可能な方は家族の同意の元、ホームにて金銭管理の方も出来るだけ本人の意思に沿った使い方が出来る様支援している。			

38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	希望に応じてホームの電話を自由に使用している。又介助が必要な時は支援をしている。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	ホーム内には手すり、エレベーターを設置している。また、可能な方に関しては階段の使用などもスタッフ見守りを行ってもらい、日々自信が持てるような事に取り組んでいる。リビングには光の調節が出来るライトを設置している。テレビや音楽の音量は不快に感じない音量にて行っている。		☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	ホーム内は手すりがあり、ダイニングテーブルの間隔など、車いすの利用者や歩行の状態に合わせて動線が確保されている。
IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	適宜、カンファレンスを行い、本人に意向や思い、暮らし方などの再確認をし、その意向に沿った暮らしが可能な範囲でできている。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	一人ずつ担当者を設け、各々の生活歴や趣味活動などの把握に努めている為、誕生日等には各利用者に応じての要望を可能な限り聞いている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	毎朝血圧・検温・脈などを測り熱計表として記録している。また、状態などが不安定な際は、看護師に相談し助言を頂いている。必要に応じ、受診や往診等の支援を受けている。		☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	血圧、検温、脈を測り熱計表に記載している。またコロナ感染予防対策として毎朝以外にも、定期的に利用者、職員とも検温を測っている。また定期的な訪問診療にて状態などを報告し主治医と連携を図っている。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	衣類を買いに行ったり障害者施設の衣類販売を6か月に1回来ていただき好みの衣類を購入している。現在も感染対策として機会は減少している。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近（自室等）に持つことができている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	なじみの寝具や衣類を持参し使用している。タンス等の愛用品も居室に持参している。		☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	居室へは、できるだけ使い慣れた物を持ち込んでいただくように促している。枕や布団、仏壇や遺影などをそれぞれに持ち込んでいる。

45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	整骨院や教会などに友人と外出されている方もいる	感染対策にて現在も一部外出制限等、あるも緩和されれば希望に沿った外出支援など行っていく事とする。		
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	各方の楽しみに沿った(買い物、植物の世話、等)を行っている。また計算、塗り絵、手芸など、一人ひとりに応じた楽しみ方ができている。			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	ソファー等で、気の合った方と過ごしている。またホーム前のベンチでは思い思いの時間を過ごしている。		☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	ホーム内のベンチで外気浴などを行い気分転換ができる環境となっている。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	地域の認知症カフェやオレンジカフェに以前は出向いていたが現在はいけていない。	感染時期の名残から外出が減少している、今後も地域の方と関わりを持って行く。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	ホームでは職員と関わり、安心して我が家のような生活をおくれているが、地域の催しものや、カフェなどへの参加を積極的に行っていく	地域の方より情報を頂き、地域の催し物や認知症カフェなどに、積極的に参加する事とする。	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	感染後よりホーム内での生活が多くなっている。ホーム内では職員と関わる機会が多く安心と信頼が構築されている。今後も感染対策が緩和され外出が可能になれば今以上によりよい生活を送る事が出来る。